

'90



広報

9月号

No. 362

玉造

たまつくり

■ 発行／玉造町長 編集／企画商工課

町の人口と世帯

平成2年9月1日現在

男 7,049人(+14)

女 7,191人(+13)

計 14,240人(+27)

世帯数 3,433戸(± 0)



4ヘクタールのひまわりじゅうたんだ！

霞ヶ浦大橋のたもとに、あたり一面黄色にかがやく「ひまわり」畑が出現。目を見はるばかりのあざやかさに、思わず「ワアーきれい！」

広さは約4ヘクタールあまり。高須地区の11名の皆さんのが水田や原野に、小麦の転作あとを利用して栽培したもの。品種は矮性ひまわりの「太陽」と「東北八重」。6月下旬に種をまき、8月中旬には開花。下旬から9月中旬頃にはあざやかな黄色のじゅ

うたんがお目見え。日曜日ともなると、車を止めてスナップ写真を「パチリ」。

このひまわりじゅうたん、水田農業確立対策の景観形成作物導入推進事業として行われたもので、今回モデル栽培として初めて実施。「霞ヶ浦大橋のたもとは、水の科学館・親水公園の建設が進められており、ひまわりの景観が観光に一役買えるのでは……」ともくろむむきも。

平成2年度町内長寿番付

〈敬称略〉 年齢は9月15日現在

東 方					西 方				
地位	氏名	性別	年齢	地区	地位	氏名	性別	年齢	地区
横綱	瀧崎きよ	女	98	横須賀	横綱	下河邊莊司	男	95	宿
張出横綱	菅谷のぶ	〃	95	新宿					
大関	英保その	〃	94	羽生	大関	小島庄次右エ門	男	94	西蓮寺
					張出大関	井坂さと	女	〃	下宿
関脇	茂木とし	女	93	諸井	関脇	高木すき	〃	93	浜
小結	今泉すい	〃	〃	羽生	小結	横田さと	〃	〃	羽生
前頭筆頭	杉本さつ	〃	〃	〃	前頭筆頭	野口りう	〃	92	加茂
2	井野場訊	男	92	〃	2	小田部さた	〃	〃	泉
3	鳥名木むめ	女	〃	新宿	3	飯島ひで	〃	〃	沖洲
4	真家クラ	〃	〃	上山	4	代々城ふさ	〃	〃	内宿
5	大輪しな	〃	〃	新宿	5	鎌田きく	〃	〃	緑ヶ丘
6	根崎たけ	〃	〃	西蓮寺	6	小沼ウメ	〃	〃	八木蒔
7	飯島武雄	男	〃	藤井	7	樽見盛豊	男	〃	若海
8	高塚いま	女	〃	舟津	8	瀧崎ヨ子	女	〃	上宿
9	舟串マス	〃	91	浜	9	宮内清十	男	91	羽生
10	森作三藏	男	〃	捻木	10	大輪ナヲ	女	〃	竹の塙
11	鈴木はま	女	〃	中山	11	伊藤イサ	〃	〃	横須賀
12	石田三千雄	男	〃	芹沢	12	山中いみ	〃	〃	羽生

私は、玉造町諸井の中学校の上の高台に住んでいる八十歳の老人です。息子夫婦も孫も、私をやさしく大切にしてくれ、毎日楽しく過しています。体も丈夫で、毎日歩くのが好きです。自分の健康に感謝しています。何よりも健康が第一と、老人になればなるほど感じています。

八十五歳まで丈夫に来られたのも、皆さまのおかげです。ありがとうございました。これからも、そのご恩に答えてがんばります。

私は、夜は早く眠り、朝早く起きます。起きると必ず外出して、庭の掃除と草抜きを始めます。習慣で、それが好きなのです。毎日家の後の道を掃除していると、小・中学

校の生徒さんが通ります。その時、私を見ると必ず「おはよー、おはよー」と朝のあいさつをしてくれます。『一日の計は朝にあり』と言います。心から感謝しています。何よりも

生徒さんだなあーと思いつつはよー、おはよーと楽しんでいます。

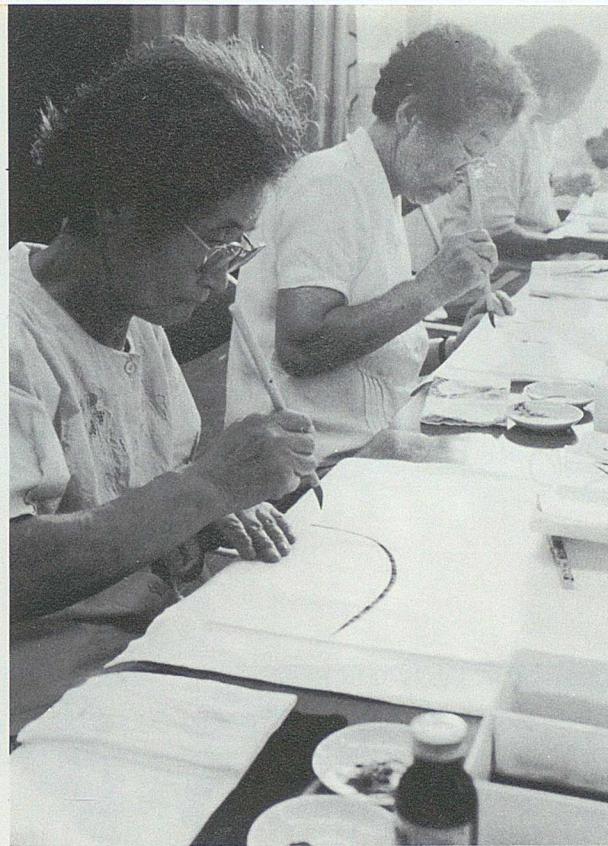
生徒の行いが正しいのも、校長先生はじめ諸先生方の熱心な教育の賜(たまもの)と心から感謝して厚くお礼申しあげます。今日も、生徒さんの「おはよー」を楽しみにしています。

なお、生徒の皆さんは今後教えを良く守り、立派な社会人として成長されますよう期待いたします。



玉造小・中学校の
皆さんありがとうございます

(寄) 荒井きく(諸井)



真剣に取りくむ生徒たち、なかなか難かしそうでした。

お年寄りの話題

水墨画にアタック

高齢者教室

幽玄な山水画の境地を極めようと、高齢者教室「水墨画」が中央公民館で始まった。墨一色で自然を描こうとする水墨画を「形はもちろん、色の濃淡の出し方、筆勢が大事で、学べば学ぶほど奥が深い」と語る講師の中村桜将先生。難かしいことはともかく、初心者の生徒の目は真剣そのもの。



橋川とくさん(諸井)が表彰

公衆衛生事業功労で

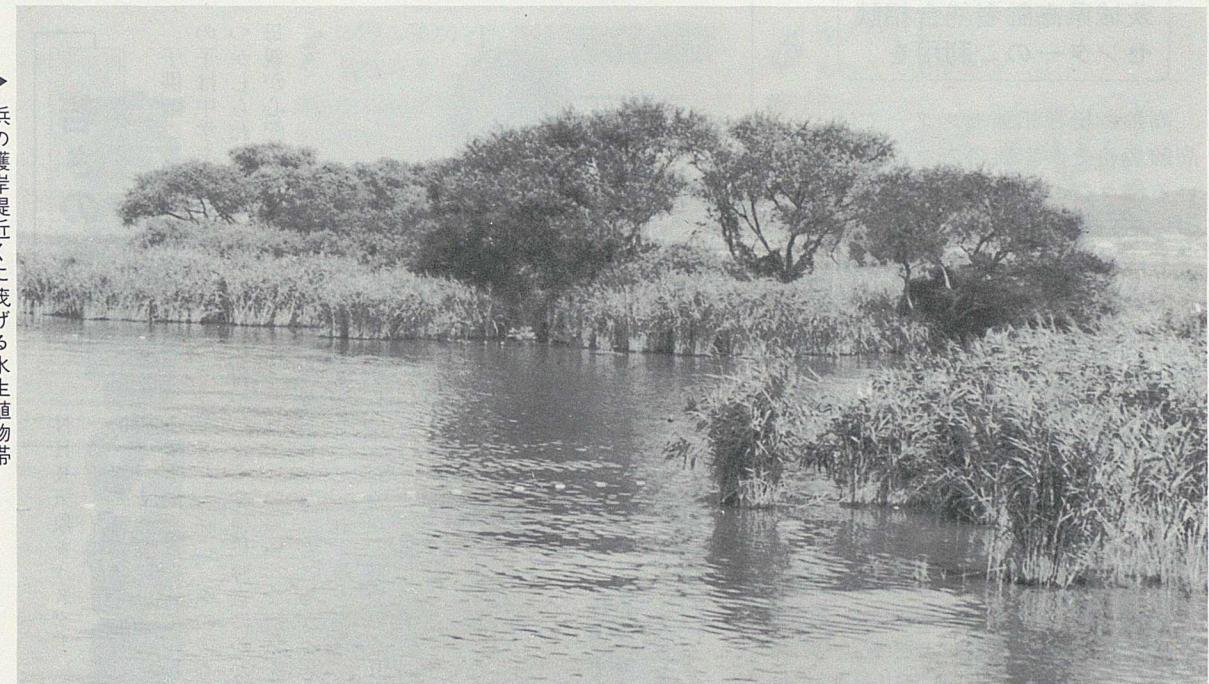
諸井の橋川とくさん(七十六歳)が、公衆衛生事業功労により、九月七日に鉢田保健所長から表彰を受けました。

諸井地内にあるごみ収穫所の清掃をせつせと続け、その功労が認められたものです。町では、毎週火曜日と金曜日にごみ収集を行っていますが、橋川さんは収集後に収穫所の清掃をし、利用する皆さんに喜ばれています。「そんなたいしたことでもしてないのに表彰を受けるなんて」と謙そんしていますが、橋川さんのこうした行いは、地域社会を明るく照らすものといえます。表彰おめでとうございました。

「たいしたことでもないのに…」と謙そんする橋川さん。

田中妙子さん（沖洲）が体験発表

霞ヶ浦女性教室



▶ 浜の護岸堤近くに茂げる水生植物帯

『玉造町湖岸の水生植物の調査について』

（体験発表）

私達、玉造町くらしの会では二年前の二月から、「水辺の環境」を活動の中心に、実践活動に取り組んでいます。約十五キロメートルにもよぶ湖岸線を持つ玉造町の住民として、年々進む水質汚濁、とかつては玉造町湖岸を覆いつくしていた水生植物帶の消失などが、私達住民に何をもたらすかをしつかりと見つめなければと考えたからです。

まず梶無川の調査から

霞ヶ浦の汚濁については、その汚染源として生活雑排水の影響が大であるといわれているので、私達の生活の中で約十五キロメートルにもよぶ湖岸線を持つ玉造町の住民として、年々進む水質汚濁、無川の調査を毎月行っています。

ばと考えて、町内を流れる梶無川の河口から河川を三キロ遡（さかのぼ）り、水源まで足をのばして調査を行いました。

私達は、梶無川の中流域、町の中心部でチツソやリンが

急上昇するのではないかと予想したのですが、調査結果は予想に反し、水源地ですでにチツソが八PPMに達していく、湖水の六倍の濃度でした。その後、川が下っていく過程で窒素は減少傾向を示しました。つまり、流下の過程で浄化作用が働いているという結果になりました。

自然浄化をいかす方向に

次に第二番目として、梶無川流域の調査で分かったことは宅地内で処理することや、洗剤から粉せつけんへの使用促進等身近な対策に心してきました。つまりですが、それ以上に農政や開発のあり方を考えなおすことが必要なのではないかと考えられます。

玉造町の産業のなかで、農業・漁業は中心的な存在です。周辺に汚染源がないところから農業用肥料ではないかと考えられます。

そこで考えなければならないのは、第一に水源地の汚染です。周辺に汚染源がないところから、私達は農業は町の命と考えております。しかし、環境保全ということを考えると、環境保全型の農業たとえば、有機農業の必要性を感じました。

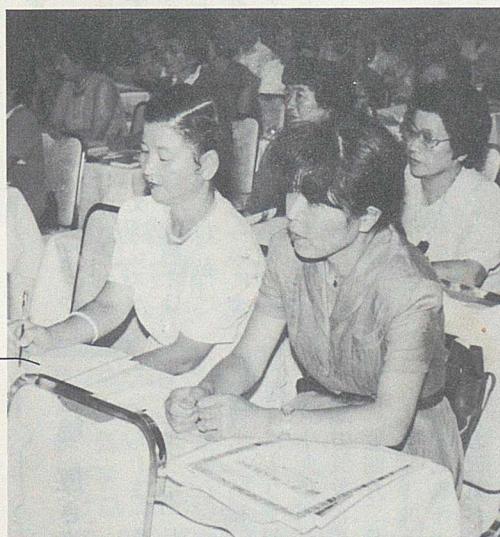
私たちが家庭からの生ごみ

台所をあずかる主婦の方々の、霞ヶ浦に対する水質浄化の意識高揚をはからうと、「平成二年度霞ヶ浦女性教室」が、八月十七日に土浦市の霞ヶ浦パレスホテルで開かれました。教室は、霞ヶ浦問題協議会（坂本常蔵会長）が主催し、流域に住む四十一市町村の主婦約二百五十人が出席。玉造町からも「くらしの会」会員六人が出席し、田中妙子さんが『玉造町湖岸の水生植物の調査について』と題して体験発表を行いました。

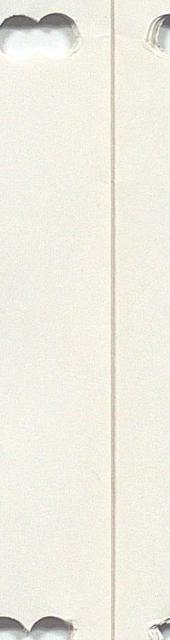
女性教室では、坂本会長が「霞ヶ浦の汚濁原因の四〇%を超えるものが生活雑排水といわれている。台所対策は、洗剤などご婦人の方のエリアが大半。そうした意味からも、きょう一日有意義に研修してほしい」と、さらに渡辺県南総合事務所

環境保全課長は「水質浄化には流域住民の理解と協力が必要。霞ヶ浦のCODは以前八PPM台であったが、今は七・四PPMと改善されつつある。しかし窒素・リンは横ばい状態だ。県としては今後も霞ヶ浦の水質浄化に最善の策を尽くしていきたい」と、それを含めた五人の体験発表が行われました。

研修後、出席者全員がジエマトライインに乗り、霞ヶ浦湖上視察を行いました。



他の地域の発表に耳をかたむける町くらしの会々員（霞ヶ浦パレスホテルで）



田中妙子さん（沖洲）が体験発表



田中妙子さん（沖洲）が体験発表



地図の基本となる 空中写真を撮影

わたしたちは、ドライブや登山などで地図をよく利用します。これらの地図は、国土地理院が作成した基本図をもとに、作られています。

現在、この基本図は、飛行機から撮影した空中写真をもとに、写真測量という方法で作られています。

▶隣り合う写真は60%重複させて写す

空中写真の撮影は、昭和35年から行われています。当時は、「くにかぜI」という測量用航空機が使われていましたが、昭和58年10月から、現在も活躍中の「くにかぜII」に替わりました。

「くにかぜII」は、全幅(翼の長さ)が15.32メートル、全長10.82メートル、全高4.33メートルで、双発のプロペラ機です。この飛行機で現地まで飛んで、全国の空中写真を撮影するのです。

基本図の一つである、2万5千分の1地形図を作成する場合、高度約6,000メートルで飛びながら撮影します。1回の飛行で、1,500平方キロメートル以上の地域を撮影することができます。空中写真は連続して撮影しますが、隣り合う写真は必ず60%ずつ重複させて写します。

こうして撮影された空中写真から素図を作り、現地で実際に調査・確認した後、地図に表す事項を記号化しながら編集して、それを製図すれば地図ができあがります。

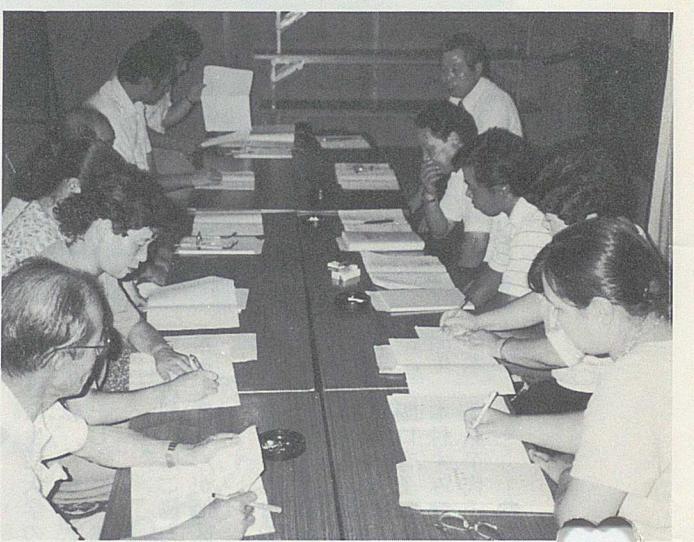
▶5年ごとに全国を定期的に撮影飛行

しかし、一度できあがった地図も、年月がたつにつれて、都市の発展や高速道路の開通などで地域が変わり、実際の状況と合わなくなってしまいます。そこで、5年ごとに全国を定期的に撮影し、常に新しい内容の地図に更新しているのです。

「くにかぜII」は、年に100回ほど撮影のために飛行します。そのうちに、「くにかぜII」があなたの住んでいる街の空を、撮影のために訪れるかもしれません。



▲図化機による製図



お互いに意見を交換し合う会議員

八月に県知事より委嘱を受けた第九期の会議員四人と、最後の実践活動の年を迎えた八期の会議員四人が、八月二十三日の夜初会合をもち、意見の交換をしました。

新任の会議員が、前任の会合では八期の会議員さんより

活動の反省もふまえたさまざま意見が述べられ、新任の会議員さんたちは熱心に聞きながら、これから活動に意欲満々の様子でした。ご活躍を期待いたします。

武田悦子さん(柄貝)、小津栄さん(舟津)の四人が活躍されています。

玉造町では、会議員が定期的に自主会議を開き、話し合いを続けています。今回の会

て「豊かさと生きがいを求め」をキヤッチフレーズに、昭和五十一年十二月に発足した県民集会も平成二年度から九期目に入り、新たな会議員に玉造町から原弘さん(根吉屋)、桜井和子さん(根吉屋)、横田憲子さん(羽生)

飯島雅之さん(中山)の四人が選ばれました。任期は平成四年まで。

県民集会は、県北・県西・県南・鹿行の四ブロックごとに実行され、鹿行地方には六十人の会議員がいます。任期は三年。二年次ごとに新しい会

議員が選任されます。集会では、それぞれブロックごとに県や市町村など行政側への要望と、私たち地域住民が自分たちでできることなどを討議し、提言としてまとめ実践活動をしています。

なお、昭和六十三年度から

平成二年度までの第八期会議員として、萩原浩さん(加茂)、関野喜代子さん(根吉屋)、

武田悦子さん(柄貝)、小津栄さん(舟津)の四人が活躍されています。

玉造町では、会議員が定期的に自主会議を開き、話し合いを続けています。今回の会

合では八期の会議員さんより

活動の反省もふまえたさまざま意見が述べられ、新任の会議員さんたちは熱心に聞きながら、これから活動に意欲満々の様子でした。ご活躍を期待いたします。

武田悦子さん(柄貝)、小津栄さん(舟津)の四人が活躍されています。

「ゆれ動く少年の心を しつかりと支えよう」

夏休みが終わつた九月は、少年少女の家出がもつとも多い月です。昨年九月には、八千三百十三人が発見・保護されており、他の月と比べると約二倍から三倍もの数になつています。

家出中に非行に走つたり、犯罪の被害者となつたりする少年少女も増えており、昨年の例では、家出した約十人に一人が非行に走り、約三十人に一人が犯罪の被害に遭つています。

警察では、この時期を「家出少年発見保護活動及び福祉犯取締り強化月間」としています。家庭や地域社会でも少年少女の生活や行動に关心をもち、家出に走ることのないよう注意しましょう。

おしらせ

無料登記相談

▶日時 10月1日(月)午前10時～午後3時まで

▶相談会場 鹿島郡神栖町溝口1695番地 保健・総合福祉センター

(☎ 0299-92-7001)

▶相談対象

○土地…境界確定、鑑定測量、分筆、合筆、地目更正、地目変更などの登記

○建物…新增改築の表示、変更、更正、登記、区分、合併、分割、減失などの各登記

○調査測量…土地、建物の調査測量

▶問い合わせ先 茨城土地家屋調査士会鹿行支部

(☎ 0299-72-0312)

司法書士法律相談

▶日時 10月1日(月)午前10時～午後3時まで

▶相談会場

○石岡会場…石岡市民会館(石岡市総社1-2-5)

(☎ 0299-22-5187)

○土浦会場…西友土浦店5階催事場(土浦市大和町3-15 ☎ 0298-22-1111)

○神栖会場…神栖町保健・総合福祉センター(鹿島郡神栖町溝口1695 ☎ 0299-92-7001)

○水戸会場…茨城司法書士会館(水戸市五軒町1-3-16 ☎ 0292-25-0111)

▶相談内容 司法書士の業務に関する相談(登記、供託、訴訟書類の作成等)

▶問い合わせ先 茨城司法書士会(水戸市五軒町1-3-16)

(☎ 0292-25-0111)

▶その他 相談は一切無料です。

行政書士無料相談

▶日時 10月7日(日)午前10時～午後3時

▶会場 麻生町中央公民館(☎ 0299-72-1573), 鹿島町勤労文化会館(☎ 0299-83-5911)

▶内容 遺産相続、会社設立、示談書、内容証明、契約書、農地法許可申請、風俗営業、官公庁への指名願、建設業法許可申請書、車庫証明等

▶問い合わせ先 県行政書士会鹿行支部(☎ 0299-64-6127)

障害者集団選考会

障害を持つ方々が、自分の能力を生かし、職業を通じて自立したいという願いは近年高まりを見せていますが、雇用の状況は不十分な状況です。

そこで、障害者の雇用の促進を図るために、事業主と障害者が一堂に会しての相対方式による「集団選考会」が県の主催により行われます。

参加を希望する事業主の方及び就職希望の障害者の方は、最寄りの公共職業安定所へ申し出て下さい。(当日、会場での求人、求職の受付、相談も行います)

▶集団選考会日程

10月9日(火) 水戸サン・アビリティーズ(水戸市見川町)

10月11日(木) 阿見町中央公民館(阿見町若栗)

10月12日(金) 下妻市総合体育館(下妻市本城町)

※受付は各会場とも12時30分から

茨城県立農業大学校**学生募集**

県立農業大学校では、21世紀の茨城農業を担う、国際化・ハイテク時代に対応できる若者を養成することを目標に、本年度より新しい農大としてスタートしました。

教育内容も、従来の理論と実践

の一体化教育に加え、①コンピューターを使った情報処理能力の習得、②農業技術の高度化に対応するバイオテクノロジー技術の習得、③研修・交流等を通じた国際感覚の養成等内容を一新し、さらに短大卒以上の青年を対象とした研究科を新設し、試験研究・開発能力

を有する、より資質の高い青年を養成します。

▶募集人員 農業科20名、畜産科10名、経営情報学科10名、果樹園芸学科10名、野菜園芸学科20名、花き園芸学科10名、研究科10名

▶受験資格 高等学校卒業者及び平成3年3月卒業見込みの者、大学入学資格検定合格者。ただし、研究科については、短期大学卒業以上の学力を有する者、農民研修教育施設卒業者。

▶願書受付期間 推薦入学11月26日～12月3日、一般入学1月14日～1月28日

▶試験日 推薦入学12月11日、一般入学2月5日

▶修業年限 2年(短大2卒の資格取得)

▶問い合わせ先 東茨城郡茨城町長岡4070 茨城県立農業大学校入試事務局(☎ 0292-92-0010)

☎ 113番の利用方法が便利になります

NTT石岡支店では、従来113番(故障係)は受付者が電話で応対し、話中調べや故障調べを行っていますが、より便利に、より早く利用いただくために、一部局番(43・44・47・49・52・53・54・56・57)を除き、管内全域に自動応答試験装置を導入します。

この装置は、「113」番をダイヤルすると、5～9秒後に音声案内があり相手の方が話中かどうか調べたいときは「プッ、プッ、プッ」の信号音が聞こえたら、相手の電話番号をダイヤルする事により、自動的にその結果を音声でお知らせすることができます。

また、故障についてのお問い合わせは「プッ、プッ、プッ」の信号音が聞こえたら「1」をダイヤルすると受付者が応対し、結果をお知らせします。

サービス開始は平成2年10月30日(火)からです。

~音声案内内容~

『こちらは113番です。相手の方がお話し中かどうか、お調べになりたいお客様は「プッ、プッ、プッ」と言う音が聞こえましたら、相手の方の電話番号をダイヤルしてください。

故障についてのお問い合わせのお客様は「1」をダイヤルしてください。

「いばらきふるさとまつり」を開催**▶開催日及び会場**

○旭会場 10/13(土)～14(日)、いこいの村涸沼(旭村箕輪)

○下妻会場 10/27(土)～28(日)、砂沼サンビーチ(下妻市長塚)

▶催事内容

「県民ふれあいの祭典」「農林水産まつり」「県産品まつり」「緑化推進コーナー」「茨城の秋まつり」「国際交流広場」「ふるさと再発見クイズ大会」「こども広場」「特別出演(芸能人の公演)」など。

リゾートいばらき観光写真コンクール

▶テーマ 県全域の景観(自然の景観・歴史的景観・都市景観・観光レクリエーション施設景観など)及び行催事(伝統芸能・市民フェスティバル・祭りなど)を題材としたもので、四季折々の茨城の観光を県内外に紹介する観光ポスター・パンフレットに使用できるもの。

▶規格 カラープリント四ツ切り(一人何点でも応募可)

▶締切 平成2年10月31日(火)まで(当日消印有効)

▶作品送付先 社団法人 茨城県観光協会(〒310 水戸市大町1丁目2-6 三井生命水戸ビルディング内)

▶応募細則

○応募票 所定の形式の応募票に氏名、住所、電話番号、部門、画

題、撮影年月日、撮影場所を必ず記入し、作品裏面に貼付すること。(応募票の貼付なきものは無効)

○作品 昭和64年(平成元年)1月1日以降に撮影したもので未発表のものに限る。応募資格に制限なし。応募作品は原則として返却しない。

○問い合わせ先 リゾートいばらき観光キャンペーン推進協議会事務局(茨城県観光物産課内)

(☎ 0292(24)4723)

社団法人 茨城県観光協会

(☎ 0292(26)5433)

(税の窓)**他県ナンバー自動車は変更登録を**

自動車税は、道路損傷負担金的性格が含まれていることから、自動車の主な置場所在の都道府県が課税することになっており、道路の整備拡充等の重要な財源となっています。

これらの趣旨を十分に理解していただき、茨城県以外のナンバーのまま本県内で使用されている場合には、速やかに〔水戸〕・〔土浦〕ナンバーに登録替えされるよう協力下さい。

登録手続きは忘れずに

自動車を売ったり買ったりしたとき、自動車の使用をやめたとき住所が変わったときなどは、それぞれ名義変更・抹消・住所変更等の正しい登録手続きを忘れずにしてください。手続きをしないと自動車税がいつまでも登録名義人に課されるなどトラブルの原因となりますので登録手続きは忘れずにお願いします。

※詳しくは、麻生県税事務所

(☎ 0299-72-0483)へ。

第6回つくば国際音楽祭

▶場所 つくばノバホール(つくば市吾妻一丁目)

▶プログラム等)

10/12(金)…モーツアルト時代の「予約演奏会」/シュミードル&パイショタイナー

10/25(木)…「フィガロの結婚」序曲/G・ジェルメッティ&シュトゥットガルト放送交響楽団

11/1(木)…モーツアルト・クラリネット協奏曲/ポーランド室内管弦楽

11/9(金)…ニューヨーク・ジャズ・エッセンス/ソニー・フォーチュン&ニューヨークジャズオールスターズ

11/22(木)…アンサンブル・ウィンベルリン(九重奏)

11/24(土)…アンネ=ゾフィー・ムター

ヴァイオリン・リサイタル

▶問い合わせ先 つくば国際音楽祭実行委員会事務局(つくばインフォメーションセンター内)

(☎ 0298-52-5512)

県民文化センター 催し物案内**▶プログラム**

10/5(金)…劇団四季「コラスライン」

10/12(金)…ポール・モーリアジャパンツアーコンサート

11/10(土)…「県民の日記念親子コンサート」ボニー・ジャックス&森みゆき(入場無料)

11/26(月)…アート・ブレイキー&ジャズ・メッセンジャーズコンサート

12/9(日)…聖トマス教会合唱団&ゲヴァントハウス管弦楽団演奏会「マタイ受難曲」(全曲)

▶チケット申込み・問い合わせ先(☎ 0292-41-1166)

▶公演案内(☎ 0292-41-1171)

文化財散歩

(12)

石の仁王さま



玉造町加茂の、笠掛山神宮寺宝幢院に、石の仁王尊がある。玉造町の寺には、四か寺に仁王尊があるが、石像はここだけで、県内でも大変珍らしい、仁王尊は、お寺を守る神として、寺の門の左右に置かれ、金剛力士・仁王様とも呼ばれる。いかめしい姿で、特に鎌倉時代武士の気風に合った健康の象徴として、人々に尊敬され、多くの寺に

造られた。口を開けた阿形(あぎょう)と、口を閉じた吽形(うんぎょう)で一対になつている。この仁王石像は、安永五年(一、七七六)冬、出島の石工が、ほかの食事を断つて豆腐食で、日夜一心こめて刻んだという。今でも豆腐や、手拭などを供えて信仰されている。

玉造町文化財保護審議会委員
成 島 謙 二



善意銀行

編集後記

○8/17 荒宿子ども会より
八千九百三十七円
○8/21 中野マサさん(羽生)よ
り雑巾百枚
○8/22 根古屋子ども会より
五千六百六十二円

熱帶夜が続いた猛暑も終わり、本格的な秋のシーズンになりました。少々夏バテ気味ですが、これから季候が清涼剤となります。健康にはくれぐれもご留意を……。

—秋の全国交通安全運動(9/21~9/30)—

▶重点目標は3点

- ① 若年運転者による無謀運転の防止
- ② シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底
- ③ 違法駐車の締め出し



ところ	赤ちゃん	くるみ	彩記	長女	利明・紀代	ところ	赤ちゃん	くるみ	彩記	長女	利明・紀代
中山	高橋	くるみ	長女	祐一・久美子	里	西蓮寺	中山	高橋	くるみ	長女	祐一・久美子
上宿	荻	彩記	親	正文・洋子	西蓮寺	根古屋	田代	大木	さとみ	長男	祐一・久美子
西谷	代々木	彩記	長男	久四郎・はる江	浜	竹の塙	西谷	高野	昂平	三男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	正文	三男	高川	伊藤	高岡	高野	岳	長男	三男
根古屋	さとみ	彩記	洋子	久四郎・はる江	高野	島	高岡	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	長女	祐一・久美子	道	直啓	高岡	高野	岳	長男	祐一・久美子
中山	中	さとみ	親	正文・洋子	道	啓貴	翔	高野	岳	長男	正文・洋子
根古屋	さとみ	彩記	長男	久四郎・はる江	長男	幸廣	翔	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	和美	祐一・久美子	長男	浩一	翔	高野	岳	長男	祐一・久美子
中山	中	さとみ	美智子	正文・洋子	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	正文・洋子
根古屋	さとみ	彩記	長女	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	正文・洋子	長男	長男	長男	高野	岳	長男	正文・洋子
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	正文・洋子	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
根古屋	さとみ	彩記	利明・紀代	久四郎・はる江	長男	美智子	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
西谷	西谷	彩記	親	久四郎・はる江	長男	長男	長男	高野	岳	長男	久四郎・はる江
中山	中	さとみ	長女	久四郎・はる江	長男	和德・洋子	長男				